

解釈力

2024.5.27

人生とは、何が起こったかではない。それが人生を分けるのではない。起こったことを、どう解釈するか。それが人生を分ける。表現を換えると、良き人生を切り拓くためには、人生の解釈力が極めて重要だということである。

では、どのようにすれば、人生の解釈力を身につけることができるのか。人生において、不幸な出会いと思えるものを意味のある出会いに転じ、さらに有り難い出会いに転じていくためには、その出会いの意味を深く考えることを通じて、人生の解釈力を身につけ、磨いていかなければならない。それは、心の中で、人生の物語を生み出す力を磨くことでもある。

私個人としては、長い人生において、不幸な出会いと思ったことは一度もない。これは、あくまでも私側から見たことである。相手からすると、そうではないかもしれない。傍から見ると、不幸に見える出会いでも、人生の物語を心の中に生み出すことで、人生の解釈が変わってくる。どちらの物語の方が、自分の心に素直に入ってくるか。どちらの物語の方が、自分の心が癒されるか。どちらの物語の方が、自分の心を成長させるか。

我々は、人生において、物語を意識的、無意識的を問わず、心の中に無数に生み出しながら生きている。それは、人が人生を振り返り、思い出話を語るときに顕著である。「あの人に会ってから、私の人生は、おかしくなった」「あの人は、自分にとって幸運の女神だ」このようなことを時折耳にすることがある。これらは、科学的に誰もが認める客観的な事実ではない。その人にとって、その出会いが、そのように解釈できるという意味での主観的な物語に他ならない。そして、我々が意識的、無意識的に生み出す人生の物語は、ときに、自分の人生を力強く肯定し、励まし、癒してくれる。

人生の解釈力とは、ある意味で、人生において与えられた出会いや出来事を前に、そこから、自らを励ます物語、自らを癒す物語、自らを成長させる物語を生み出していく力のことである。人生に無駄なことはない。我以外皆我師。今までに、これらのことを学んできた。そのためか、人生の解釈力が徐々についてきているように思う。

この解釈力が、これからますます重要度を増してくる。できれば、若い方にも、人生の物語を紡ぎ出す力、人生の解釈力をつけてほしい。そうすれば、意外と人生の展開が変わってくるのではなからうか。同じことが起きても、その解釈によって、その後の人生が違ってくる。これは、大事なことのよう思える。